

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 7年 2月 18日

公表: 令和 7年 3月 21日

事業所名 放課後等デイサービス KATALIBA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	場面を変えたスペース作りが行なえている	距離が近くなることがある為、椅子の配置等支援員が取り決める
	2	職員の配置数は適切である	5	0	適切になるよう配置表を用いている	イベント時等手薄になることが考えられる際は事前に職員配置を調整する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	状況次第でエレベーターの活用をしている	賃貸である為出来ることは限られるが身体障がいや怪我の場合にエレベーターを活用する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	1人1人が意識を持って参画できている	朝や夕のミーティングで話し合う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	アンケート結果を元に職員間で話し合い改善案を出している	職員が統一意識を持って業務改善を徹底する
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	自己評価を行った上で公開出来ている	職員一人一人が自己評価を適切に行い公開する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	保護者様からの評価も受けて改善している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月研修の機会を設けて統一した支援ができるよう心がけている	研修を通じて支援の質の向上を図る
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	支援計画策定の際には必ず面談を行い、アセスメント内容を踏まえて作成している	ニーズや課題に合った支援が出来るよう計画の作成を行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	個別のニーズに対応するために、ISSPやSM社会生活能力チェック等のアセスメントツールを活用している。また、WISC-V等の検査結果も把握に努めている。	支援を行う前にアセスメントに目を通して状況把握を行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	職員の話し合いを重視して立案をまとめている	職員での意見交流を深めて立案に活かせるようにする
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	曜日ごとに集団活動を変えて固定化を避ける努力をしている	子どもや保護者様の意見も取り入れながら固定化しないように活動を組んでいく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	職員間での話し合いを定期的に開催し、場面毎の多様な課題を設定している	課題を細かく設定できるようさらに話し合いに重点を置きたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	活動が偏らないよう個別と集団を組み合わせて支援をしている	個別と集団活動の内容を考え、計画に盛り込めるよう意識する

関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝会を活用して支援を円滑に回せるようミーティングが行なっている	役割分担についてはさらに確認を徹底していくよう掛ける
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終礼を活用して振り返りする時間を設けている	職員間で積極的に意見を出し合い支援向上につなげていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	その日の出来事をきちんと記録し改善に繋げている	正しく記録すると同時に職員間できちんと共有も行う
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	モニタリングの実施を通して計画の見直しに繋げている	今後も引き続き定期的なモニタリングを実施していく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	0	ガイドラインに沿った支援を心がけている	基本活動を組み合わせてより質の高い支援を目指す
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	子どもの状況を把握出来ている者が参画するようにしている	引き続き子どもの状況を把握出来ている者が参画する
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	電話連絡や学校訪問、出席状況の書面報告等を通じて情報共有は綿密に行っている	学校連携をしっかりと行い、情報共有も適切に行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	保護者様を介して病院・主治医との連携体制を整えている。また、必要に応じて受診に同行している。	支援に主治医の意見を積極的に取り入れ、今後もしっかりと連携を行なっていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	保護者様を介して共有を行っており、理解に努めている	共有・理解の重要性を改めて認識し、引き続き努めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	これまで障害福祉サービス事業所等への移行場面は当事業所では生じなかった。他の放課後等デイサービスへの移行時の情報共有はしっかりと行っている。	必要な範囲で情報共有をしっかりと行い、引き継ぐ
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	内部での研修は行なっており、他機関との連携も出来ている	積極的には行なえていない為、今後は取り入れていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	これまで障がいのない子どもと活動する機会はまだ設けることが出来なかった。今後はイベントなどを通して機会を設ける努力を行いたい。	まだ活動機会が多くない為、積極的に機会を設けていく
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	3	参加する意欲はあり、環境は整っている	積極的には行なえていない為、今後は出来る範囲で参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	HUGや電話、面談等を通じて行なっており共通理解を持っている	情報共有できる機会を多く設け、認識のズレが生じないようにする

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	保護者会を定期的に開催したり、児発管や心理師による相談の機会を設ける等支援できる体制を整えている	保護者から自発的な困りごとの発信がない場合についても、当所から積極的に声掛けしてペアレント・トレーニングに繋がっていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約面談時を利用して行なっている	契約面談時には説明を行い、以後相談が出た場合は都度説明を行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	保護者様から相談があった際には心理師を中心に随時助言を行うことができる。	保護者様の相談には心理師等により出来る限り専門性に立脚した助言を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	保護者会を定期的に開催し交流できる機会を設けている	引き続き保護者会を開催し連携支援を図る
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	どんな声に対しても迅速・適切な対応を心がけている	苦情が発生した際には職員間で共有・話し合いを行い、適切に対応する
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	HUGやSNSを活用して情報発信を行っている	今後もHUGやSNSを活用して発信を行っていく
	35	個人情報に十分注意している	5	0	職員1人1人の意識を高め、外部への漏洩を防いでいる	個人情報の扱いについて定期的に職員間で徹底していく。
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	児童・保護者様の状況に合わせた伝達方法を工夫している。	児童・保護者共に、どのように伝えたら情報が伝わりやすいかについて、随時アセスメントを心がける。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	イベント時に組み込めるよう努力しているが、十分にはできていない。	まだ活動機会が多くない為、積極的に機会を設けていく
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	マニュアル策定はできており、周知も出来ている	引き続き周知の徹底に努める
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	定期的に訓練を行っており、災害に備えている	定期的に行っているものの頻度は多くはない為機会を設けていきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に虐待防止研修を受けている	研修を受け、研修内容を職員間で共有を行ない、共通認識を持っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	やむを得ず身体拘束が必要となるような状況について、個別支援計画の説明時に保護者様から承諾を得ている。	実際にやむを得ず身体拘束を行った際には、保護者様に必ず説明を行い、支援内容について保護者様から承諾を得るようにする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギーの有無について職員が事前に認識しており対応出来ている	アセスメントシートや医師の指示書に従って適切に対応する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	事例集を作成し、職員間での共有もしっかり行えている。	事例が起きた場合は速やかに作成をし、共有することを徹底する。